

第8回 霞ヶ浦意見交換会会場座席配置図

第8回霞ヶ浦意見交換会 議事次第

日時：平成16年3月13日（土）

13：30～

場所：ホテル ロイヤルレイク土浦

「霞の間」

主催：国土交通省関東地方整備局

霞ヶ浦河川事務所

共催：茨城県

独立行政法人

水資源機構霞ヶ浦開発総合管理所

議 事

1. 開 会
2. 第7回までの意見交換会の総括
3. その他
4. 閉 会

「霞ヶ浦意見交換会の設立趣旨」

霞ヶ浦の流域には、約100万人の人々が霞ヶ浦からの恩恵を享受し生活しています。

このかけがえのない霞ヶ浦を、みんなでもっと知り、みんなでもっと考え、将来、地域の財産として守っていかなくてはなりません。

このため、今後の霞ヶ浦の治水・利水・環境・その他について、流域にお住まいの方々や、霞ヶ浦で研究活動している団体等、霞ヶ浦の利用者及び関係行政機関などが一堂に会して、幅広い意見交換・情報交換を行う場として「霞ヶ浦意見交換会」を設置します。

第8回霞ヶ浦意見交換会 参加依頼者名簿

平成16年3月13日

No.	名前	ふりがな	所属・役職等
1	飯島 博	いいじま ひろし	アサザ基金
2	飯田 稔	いいだ みのる	霞ヶ浦開発事業連絡調整代表者会議
3	飯竹 泰助	いいたけ たいすけ	霞ヶ浦問題協議会
4	磯山 正子	いそやま まさこ	麻生町家庭排水浄化推進協議会
5	市村 和男	いちむら かずお	土浦青年会議所
6	奥井 登美子	おくい とみこ	霞ヶ浦市民協会
7	小貫 勉	おぬき つとむ	霞ヶ浦漁業協同組合連合会
8	方波見 和夫	かたばみ かずお	きたうら広域漁業協同組合
9	菊田 宏	きくた ひろし	土浦市消防団
10	瀬山 加代子	くりやま かよこ	土浦市立神立小学校
11	黒田 久雄	くろだ ひさお	霞ヶ浦研究会
12	郡司 久	ぐんじ ひさし	霞ヶ浦水質浄化推進振興財団
13	桜井 純	さくらい じゆん	茨城県地域女性団体連合会
14	鈴木 正光	すずき まさみつ	茨城県企業局
15	樽 一則	つばき かずのり	大好きいばらき県民会議
16	輪田 清一	とぎた せいいち	水郷湖来観光協会
17	濱田 文男	はまだ ふみお	湖畔住民の会
18	廣戸 京子	ひろと きょうこ	巴川探検隊連絡会議
19	柳沢 正雄	やなぎさわ まさお	霞ヶ浦浄化ライオンズ会議
20	岩波 頼雄	いわなみ みねお	(株)常陽新聞新社
21	植田 昌明	うえだ まさあき	
22	及川 ひろみ	おいかわ ひろみ	突塚の自然と歴史の会
23	藤塚 昭温	こしづか しょうおん	
24	小林 静	こばやし しずか	いばらきコープ阿見エリア
25	高野 哲雄	たかの てつお	土浦市立突塚小学校
26	沼澤 篤	ぬまざわ あつし	茨城県環境アドバイザー
27	濱田 篤信	はまだ あつひ	玉造漁業協同組合
28	舟木 賢徳	ふなき けんとく	舟木環境経済政策研究所
29	前川 道博	まえかわ みちひろ	東北芸術工科大学
30	升 秀夫	ます ひでお	筑波大学基礎医学系
31	村山 昭一郎	むらやま しょういちろう	土浦商工会会議所
32	山根 幸美	やまね ゆきみ	
33	山村 友昭	やまむら ともあき	
34	吉田 幸二	よしだ こうじ	ワールドバスソサエティ

<行政側出席者>

国土交通省関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所

茨城県 企画部、生活環境部

独立行政法人 水資源機構霞ヶ浦開発総合管理所

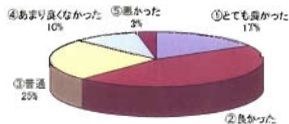
第1～7回意見交換会実施概要

回	開催日時	会場	テーマ	参加人数 ()内は一般参加者のみの人数	話題提供者数	アンケート回答数	本日のご感想					開催を知る手段						備考	
							①とても良かった	②良かった	③普通	④あまり良くなかった	⑤悪かった	新聞	新聞広告	河川事務所ホームページ	河川情報板	霧ヶ浦船協会	その他		
第1回	平成14年12月15日(日) 9:50～12:00	茨城県県南生涯学習センター		141 (105)	15	57	7 (13.2%)	23 (43.4%)	16 (30.2%)	5 (9.4%)	2 (3.8%)	—	—	—	—	—	—	—	テーマカード配布
第2回	平成15年2月8日(土) 13:30～15:30	土浦市国民宿舎「水郷」	意見交換会の進め方・テーマについて	116 (67)	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
第3回	平成15年3月15日(土) 16:30～18:00	桜川村中央公民館	水位	125 (72)	10 (発言依頼者4 話題提供者6)	50	10 (23.3%)	21 (46.8%)	8 (18.6%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	—	—	—	—	—	—	—	
第4回	平成15年5月17日(土) 13:00～16:30	浦安市立中央公民館	生態系	190 (130)	11 (発言依頼者6 話題提供者5)	60	9 (15.8%)	24 (42.1%)	13 (22.6%)	7 (12.3%)	4 (7.0%)	—	—	—	—	—	—	—	
第5回	平成15年7月12日(土) 13:00～16:00	霞ヶ浦町民会館	水質	177 (108)	15 (発言依頼者7 話題提供者8)	52	5 (13.9%)	13 (36.1%)	11 (30.6%)	6 (16.7%)	1 (2.8%)	—	—	—	—	—	—	—	
第6回	平成15年9月13日(土) 13:00～16:30	東町農村環境改善センター	産業・観光	141 (83)	12 (発言依頼者5 話題提供者7)	32	2 (6.9%)	17 (58.8%)	9 *(31.0%)	0 (0.0%)	1 (3.4%)	3 (9.7%)	0 (0.0%)	10 (32.3%)	0 (0.0%)	3 (9.7%)	3 (48.4%)	15	
第7回	平成15年11月22日(土) 13:00～16:00	レイクエコー	環境教育・住民参加	119 (59)	13 (発言依頼者4 話題提供者9)	28	6 (23.1%)	12 (46.2%)	6 (23.1%)	2 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (30.8%)	1 (3.8%)	3 (11.5%)	3 (53.8%)	14	
計				1009 (624)	88	221	32 (16.8%)	87 (45.9%)	47 (24.6%)	19 (9.9%)	6 (3.1%)	3 (5.3%)	0 (0.0%)	18 (31.6%)	1 (1.8%)	6 (10.5%)	29 (50.9%)		

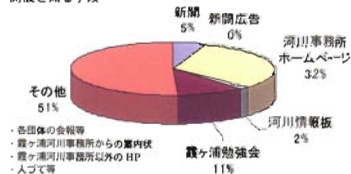
※アンケート回答数には、開催後に別紙で受審分も含む

※参加人数は、座長、話題提供者、発言依頼者、行政を含む

本日のご感想



開催を知る手段



第1回～7回の意見交換会での主な意見

テーマ	意見	行政の意見
水位	1 環境ばかりに重点が置かれて、水利用が不安定なのは困る。トータルで考えるべきだ。	<p>霞ヶ浦の水位は、地域産業や私たちの生活を各各種用水を確保するために、yp1、3mを確保することが必要です。</p> <p>一方で、水需要に対応するという制約条件の下で、湖沼環境にも配慮することも重要と考へております。このため、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するために、水辺適用試験を行うことが必要であり、2月から5月までのある期間の短期間に降雨もあつた自然状況を実施しながらyp+1.3mを確保することを目標として、それ以外の期間については水位を低下させておく試験をいいたと考へております。なお、その期間や時期につきましては、専門家の方々等に意見を伺って決めてまいりたいと考へております。</p>
	2 水質浄化・生態系にあった自然により近い水位管理をしてほしい	
	3 yp+1.2m以下でyp+1.1m程度の水位管理をしてほしい	
	4 水が余っている現在、植生に影響がある水位適用試験は必要がない	
	5 地下水活用も考へたし将来の水需要を再検討して水位管理を行う必要がある	
	6 地下水活用も考へたし将来の水需要を再検討して水位管理を行う必要がある	
生態系	1 砂浜整備で水生植物等を復元するなど、自然再生は流域全体の事業として積極的に取り組んでほしい	<p>霞ヶ浦の現状、歴史、及び流域の状況に応じた、霞ヶ浦にふさわしい環境とは何かを考へながら、多自然型灌漑等、霞ヶ浦の豊かな自然環境、湖沼環境の保全・再生に努めてまいります。</p> <p>○自然再生推進法の施行に則った湖沼自然再生の推進 湖岸緊急保全対策評価係委員会の設立(H15、16)</p> <p>○水産資源に有害な外来魚駆除の実施 -ブルーギル、アメリカナマズ等</p>
	2 緊急対策工に採用した粗朶消波工の機能を公開の場で評価すべきである	
	3 漁業は深刻な状況であるため、前浜の造成による水生植物帯再生が重要である	
	4 自然再生には、霞ヶ浦の特性である広くて浅いという特性を認識して検討すべきである	
	5 常陸川水門への魚道の設置が必要である	
	6 外来魚対策については、外来魚の製品化などの活用や、外来魚の駆逐を進めることが大切である	
水質	1 霞ヶ浦のヘドロ堆積を抑制するため、浚渫事業で生砂を排出することが重要である	<p>霞ヶ浦の水質改善にあたっては、霞ヶ浦における経済・社会活動、および動植物の生態・生育環境等に配慮しながら、個、溝、水町村及び地域の皆様が一休となって進めていけるべきであると考えております。地域の皆様より一層のご協力をお願いいたします。</p> <p>○霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の推進</p> <p>○水質浄化啓発活動の強化 -霞ヶ浦湖沼館の充実 -桜川探検隊、忠清川探検隊等の設置</p> <p>○ゴミ監視カメラの強化</p>
	2 砂浜の浄化機能を活用し、砂浜整備により水質改善をしてほしい	
	3 北浦の下水道整備の事業を推進してほしい	
	4 流入河川の水質改善が必要である	
	5 水質浄化施設等の維持管理費の低減化が必要である	
	6 水田等の自然浄化機能を活用した水質の流域管理が重要である	
	7 負荷を減らすため都市開発強度制度を見直す必要がある	
	8 水質浄化のために、富栄養化防止条例を見直ししてほしい	
	9 刈り草で有機肥料を作り、農家で使うように行政で指導してほしい	
	10 捨てられた外来魚の漁獲による水質悪化を防止してほしい	
	11 行政で霞ヶ浦の大型ゴミの不法投棄防止と投棄物の回収をしてほしい	
	12 行政は水質目標達成に責任をもつべきである	
	13 「安全な飲み水」確保のため、環境ホルモンの化学物質対策が必要である。	
産業・観光	1 湖岸植生への影響が考へられるため、杉刈採掘を規制すべきである	<p>豊かな歴史、文化、風土を誇る霞ヶ浦の恵みを最大限活用しつつ、霞ヶ浦創造ビジョンに基づいて、地域の皆様と一緒に、生活上産業と自然環境のバランスのとれた魅力ある霞ヶ浦を目指していきたいと考えております。</p> <p>○人、モノ、情報の交流の促進 -霞ヶ浦南浦エリア交流空間モデルプランの策定</p> <p>○積極的な広報の推進 -霞ヶ浦環境センターの整備、ふれあいランド等の積極的な活用等の推進</p> <p>○大規模自転車道等の整備(北岸部)</p>
	2 浮島和田碑公園に自然体験ゾーンを作る	
	3 自転車道の整備、有料トイレが必要である	
	4 駐車場がある1～2kmの人工ビーチを作りモデル水浴場を整備する	
	5 霞ヶ浦周辺の観光施設を軌跡で結べばどうか。	
	6 土浦浦、潮来をポータルにする	
	7 ブラックバス釣りに霞ヶ浦の来訪者を増やすことも検討する	
	8 釣りも重要な観光であり、漁業者との最低限のルール作りをするべきである	
	9 霞ヶ浦を映画のロケ地にしていく	
	10 自然・観光資源のPRをする	
	11 霞ヶ浦利用者から環境負担金を集める	
	12 将来の観光として、バス、筑波山、農業体験などのグリーン及びエコ・ツーリズムが必要である	
	13 スローササエーター、環境保全活動などが新たな観光を生み出す	
	14 霞ヶ浦の物質循環を担う産業を大切にすべきである。	
環境教育・住民参加	1 子供たちの人格形成のためにも環境教育が大切である	<p>これまでの意見交換会で出てきたように、今後とも、意見交換する場の提供等、霞ヶ浦に関する意見交換の実施や、情報提供等に努めてまいります。</p> <p>○意見交換会の継続的な実施</p> <p>○調査研究・技術研究、環境学習、市民活動との連携・支援、及び交流・情報拠点としての霞ヶ浦環境センターの整備の促進(H17年春開所予定)</p> <p>○水辺の再発見プロジェクトの推進</p> <p>○ふれあいランド、水の交流館、出前講座の活用等の推進</p>
	2 霞ヶ浦、里山、休耕田などを活用した環境教育を実施する必要がある	
	3 霞ヶ浦の公共事業でもブリックインポイント制度の活用が重要である	
	4 丹南会種等、政策に市民が参加する仕組みが必要である	
	5 霞ヶ浦に関わる研究者、各行政機関の連携が必要である	
	6 行政は市民の利用できる様々な情報のデータセンターを整備し、市民参加型情報ネットを提供してほしい	
その他	1 堤防等の治水施設については、一応の安全度で整備されていると思われるが、今後は、治水方式等により二次被害を軽減し、更なる備えが必要ではないか	霞ヶ浦の沿川地域を洪水から防御するため、霞ヶ浦の自然環境に配慮しながら治水対策を実施してまいります。
	2 地下浸透塔、ため池、水田への一次貯留など自然再生と共存できる治水対策を検討してほしい	
	3 護岸工事は、妥当であるとするが、護岸への悪影響を将来改善していく必要がある	
	4 砂浜の前に消波施設を設置することは、砂浜による浄化作用を消滅させているのではないか	

第8回霞ヶ浦意見交換会事前会議アンケート集計結果

資料-6

所属	氏名	1意見交換会のご感想について	2意見交換会の良かった点	3意見交換会の改善すべき点	4今後の意見交換会に対して期待するものについて、自由にご意見をお書き下さい。
霞ヶ浦問題協議会	飯竹 恭助	①良かった	1. 各々テーマと決めて行ったこと。 2. コーディネーターの人選当り。 3. 事前研修 4. 各報告者の意見が聞けたこと。	1. 往復への応酬の方法(開催のPR不足) 2. コーディネーターの人選当り。 3. 聴衆が少ない。 4. 活動発表の場になりやすいので、その周辺の時間を少なくする。	4今後の意見交換会に対して期待するものについて、自由にご意見をお書き下さい。
県水府東霞浦水浄化推進協議会	徳山 正子	①良かった	いまだあまり知る事のない霞ヶ浦の現状について知る事ができた。大きな気づきがあった。特に環境構築に関しては、行政の例、住民の参加方について多くを学ばれた。	行政の本音が聞かれなかったのは残念に思いました。自分勝手な意見を述べた人が結構多かったのに少し驚きました。	
(社)土浦青年会議所	市村 和男	①とても良かった(有意義であり別でもよかったです。)	関係とその環境の整理と保全はもはや各グループがそれぞれに、霞ヶ浦宣言(パートナーシップ)に関する宣言に込められている理念が継承されている点良かった。	パートナーシップの構築について霞ヶ浦宣言には情報の共有と意思疎通が不可欠としているが、意見交換会でそれが十分実現できているかどうかを考えたのは現状では不十分であると考えます。参加者が「相互理解」「相互認識」しているのか？また参加形式が意見交換に適したスタイルなのか？意見交換会ではないか？など改善点の必要性を感じます。パートナーシップが成立する為には7つの条件が必要といわれています。①それぞれが自立している事②相互理解③相互認識④互恵⑤責任⑥共通の目標を持つこと⑦共通の目標が達成されるか、達成できない見込みができたときまでの「期限性をもつ事」	(社)土浦青年会議所に対しては「霞ヶ浦宣言を具現化するべく」2000年に「霞ヶ浦50年計画2030年土浦」を企画いたしました。霞ヶ浦に関わる多くの団体・行政そして中学生・高校生が一宮に集って霞ヶ浦の浄化を考える事業でした。残念ながらその計画は継続することはできませんでした。この意見交換会は真のパートナーシップを築くことになってほしいと思います。夏のパートナーシップは1年間で構築できるものではないと考えます。例えばそのプロセスと丁寧に時間をかけて行う事がその後の事業の成功の可否について大きな要因となり得ます。ゆえにその構築を前提とした事業はすぐに出来るものではなく、行政の主導でも実現できるものではないと考えます。行政セクターと市民セクターの連携活動「協働の構築」をきちんと設定した上で真のパートナーシップの構築無くては霞ヶ浦の浄化はありえないと考えます。時間がかかることへの諦めは行っていないべきです。
茨城新聞社	越後 肇雄	②良かった	(1)事前の資料請求、質問などにより多くの資料が提供された。 (2)各地で開催されたので、酒と方々からの参加があった。 (3)発表者の熱いものも多かった。	(1)各論の意見交換にまで進まない点が多かった。 (2)専門性とのかかわりがなかった。 (3)湖の保全像にかかわる総合的な議論が少なかった。	・産業界に共通、積極的にかかわりたい。 (1)今後の参加者については、多世代、多地域、出た人と同時に出した人も合わせて、推進方法の加減を、20年〜30年後でも元気を確を振り出し、地域の人的財に。 (2)ハードな事業を取り出すだけでなく、維持管理や水質・環境対策に向けたソフトな手法も課題に。また、産業界への参加がモノを言うだけでなく(企画)に向けた取り組みの担い手となるよう期待。 (3)取り組みのテーマ・課題を限りなく広げる(分科会的な)だけでなく、絶えず全体状況、地域として不可避(逃げられない)課題にも目を向けられる場。 (4)ものごとを整理・方向づけるのに必要な、特に行政情報の迅速な提供と、重・質の充実を。
	植田 昌明	②良かった	①意見交換会の成果や情報が広くインターネット等で公開され、市民に広がった。 ②意見交換会に際してニュース記事が採られ、各所の動向を積極的に公開した。 ③意見発表者に限らず会場からの発言、アンケート等幅広く意見を聞いた。 ④行政発表に際して欲しい基礎資料に対して不十分であったが、答えていくこととする姿勢や行政の限界を示したことはよかった。	①意見交換会になっていない、発表会だ。 ②意見の発表者とその意見と対立する人の中で意見交換が必要と、会合形態は不発。 ③双方向的な意見交換会として会議を進展させる必要がある。 ④問題点の提起と問題解決に大別して、②の会議は進展させるべきだ。 ⑤意見の整理に市役所の納骨い手法を導入したい。具体例(PGM法)は別紙に示した。	I意見交換会の開催が必要である。具体的なやり方を示す。 I-1 会議7日の目標に対して意見交換会を認める。 I-2 対立する意見はお互いの納得感をつくる。合意形成ではない。お互いの連携を促す条件とする。 II 問題提起と解決案に守るべきルール、手順を決める。 III 問題解決の判断基準を科学的な手順で示す。(科学的な手法の事例は後述PGMなど) IV 市民と行政が対等な場で問題解決の目標、解決手順を定める。 V モニター機能を備置して、出された意見の返答性を保証し、公開した上で話し合う。 II 総論(今後の意見交換会)の基本ルール 意見交換会は最低4回/年の開催とする。作業期又は事前会議とする。発言者は団体および経路提供者で総14名程度とする。ただし、オブザーバーは自由参加。 III 総論する問題解決の事例的方法、PGM法(cycle period、cyclical management)、問題点とその解決案が決まる。これまでの意見交換会に提案された目標・課題を所定の期間・手順で対応することはProjectである。
霞ヶ浦市民協議会	奥井 益典子	③普通	・国土交通省として、霞ヶ浦での意見を聴く会は初めてであったので、そういう意味で評価している。 ・今後どのように市民の意見を聞いていこうかが課題である。 ・請求した資料をもらうことが出来た。この資料は今後私たち霞ヶ浦のことを考えたいときに役に立つと思う。	・意見が構築の点でどう活かされたか、それを発表して欲しい。 ・動員強化をおこなっている。同ような意見が何人もの人から出た。軽い気持ちで参加しにばかり、同じような人でなく、もっとひろげて欲しい。	1. 一度でも参加した人に対して、前もって問題点を絞ってアンケートに答えてもらう。 2. アンケートの設計をして、同じ意見を書いた人の中で代表を決め、その人に担当発表してもらう。 3. 市民の意見をききおこうという方針が強い。聴いただけではなく、その後、その意見のフォローをして欲しい。
霞ヶ浦流域民間組合連合会	小貫 聡	②良かった	いろいろな団体及び住民の方々との意見交換が出来て良かった。	住民の方々との意見交換の時間が短い。	意見交換会にて話し合った事について実現可能な事柄について積極的に進める。

所属	氏名	1意見交換会のご感想について	2意見交換会の良かった点	3意見交換会の改善すべき点	4今後の意見交換会に対して期待するものについて、自由にご意見をお書き下さい。
きたらら広域漁業協同組合	方波夏 和夫	①とても良かった	狭ヶ浦、北浦に関わる人達が多ければ多いほど今後の重要性を実感しました。		意見交換会は、地域の意見を広く取り、新たな取り組みとして採択します。しかし、残念ながら意見交換会において他人の行った事を批判する発言も発生しました。今後の意見交換会後は、顔ぶれに対して自分たちでアゲてもらうなど、前向きな意見が送れることを望みます。 また、今まで行われた意見を基にどのように行動に移すかが重要と考えます。 私は、高尾川水門に魚道を造ることにより、狭ヶ浦川からの魚の遡上を可能にして頂き、遡上した魚が産卵で生産出来るよう湖岸に前浜を整備する事により、夏漁してしまつた獲る漁業の復興につとめて頂くことを期待しています。 最後に、地元では水産資源の回復のため魚道を設置するなど努力をしております。湖のことを考えるときには、魚の上のみで考えるのではなく環境を良く保ち、地元の人たちの意見も良く聞いてほしいと思います。
神立小学校	栗山 加代子	②良かった。	お互いの立場での考えがよくわかったこと。	意見交換の時間が短かった。パネラーという提案者の数を減らしては？	広域活動というか、交換会の内容を新聞(広報誌)のよなもので発表してはどうでしょうか。(学校ではどうすればいいのかなど質問を承っております)
狭ヶ浦研究会	黒田 久雄	③普通	住民参加型の場が生まれつつある感じがする。	日程・会場は意見を集める前に決めておくべきだと思います。一人の発表時間が長く、聞く時間のための短さを出せない感じがする。テーマの設定が、あれで良かったのか？	意見交換会で出された意見が今後どう変わるのか。特に住民の対面に登壇を出された意見への対策にわたっての回答が必要になるのではないかと。出された意見を大切にしたい。今後のビジョン、狭ヶ浦の再生への手法を示してほしい。
	藤原 明彦	②良かった	住民、利用者、行政が同一の場に立つて話ができたのは良かった。	発言依頼団体に漁業関係者は入っているが、利水者として漁業関係者が含まれていなかったのは残念である。	住民、利用者、利水者など、誰でも意見を書ける場ができたことは非常に良いことであり、今後是非継続して欲しい。第3回目からテーマを絞った意見交換会となったが、テーマが広すぎてまとまらないとの話も聞く。今後は今までの意見交換会を踏まえて、もっとテーマを絞って行なってはどうか。今までのは住民等が発言しそれに行政側が答えなどに傾いた感じがする。今後は、特に住民側の意見交換ができればいいと思う。そのためにテーマを絞る必要がある。今までの意見交換会で良かったことは開催場所が北浦を巻き取り漁業を応援したこと、北浦などでは回答を待っていた人もいたので、今後も巡回を続けてほしい。そして、狭ヶ浦のことについて何かを訴えたく、回答を待っている人のためにこれからの意見交換会ではテーマが設定された時間と自由な意見発表の時間と二部構成としたらどうか。
いばらきコープ	小林 静		一つの問題について、様々な角度から意見が発せられ、それに対してひとつひとつコメントを出されたいことは良いことでした。	発表時間に余裕が欲しい。聞き手になった時、考えている間に、次と意見が出され、流れ作業的になっているのはいかなるものか。	発表者や質問者に対しての行政側の回答は、資料を提示すればわかるような形ではなく、具体的な回答を求めます。行政側は数回など定期的に人事異動が行われたり前任者の活動を後継者が引き継いだり、レベルで落ちる方も出てくるように思います。行政主体というのを意識してほしい。議論が行っている中で、一歩一歩進んでいる様子がよくわかるような対応を望みます。(開催日について、学生と社会人も対応を持つ主催も参加しやすい日曜日も考慮してほしい)
土浦市立兵庫小学校	高野 晋夫	②良かった	行政と住民の意見、情報交換という意味でも、意義あるものだと思いますが、さらに住民同士や市民団体間にもそれぞれの意見が共有できることが確認できました。行政が場を設定してはじめて、そうした実になった意見を待つ住民が一旦に集って意見を述べ合う機会を得るのではないかと感じました。意見交換会の前後に、初回は勉強会が開催されたことは、とても素晴らしい企画であったと思います。それぞれの団体から専門的な知識、経験を有する方の出席を促したことは素晴らしいことでした。	場が一人居分は短いと思いますが、かといって持ち時間が増やすとかなりの長時間になってしまうと思いますが、数人の方しか来れず参加者も少ない団体や、参加されても意見を述べられない団体などは避けたいでしょうか。	一定の回数で一区切りということですが、何らかの形での継続を望みます。大倉庫で一気にかつても大倉庫のことではあると思いますが、いくつかの分科会という形態とか、あるいは町で細々とつづいていくのもいいように思います。たとえば第1回までのテーマに順した分科会とかで、年1回開催できるとか、ワークショップをやるとかあると思います。そして、それらの実施主体(というか、主催するものというか)は明確なものを知りたいとか教育の団体の持ち寄りなどの形がほしいように思います。行政主体であることの意味ももちろんあると思いますが、行政の側からのかかわりを重視し、しかも住民主体的な形が望ましいように思います。それで、打開のこの(情報の発信に)関連しても、是非、テーマとまではいなくても分科会的な形で設定されることを希望します。

所属	氏名	1意見交換会のご感想について	2意見交換会の良かった点	3意見交換会の改善すべき点	4今後の意見交換会に対して期待するものについて、自由にご意見をお書き下さい。
茨城県環境アドバイザー	沼澤 真	②良かった	<ul style="list-style-type: none"> 各発言者の立場や価値観が違うために主張に相違があることが改めて確認できたことが、参加者にとって認識が深まったことにより良かった。 他の主張に耳を傾ける姿勢が促された。 これまでは、一部の字遣経験者や団体の意見を聞いて事業を進めることが多かった国交省は、様々な住民の声によって大きく前進した。それが新潟川流の精神である。 各意見交換会の前に字遣サークルに関する勉強会の開催されたことで、共通認識が持たれた。 	<ul style="list-style-type: none"> 一方向的な主張もあったが、前段としては仕方ない。今回は議論をいかにかみ合わせ、合意形成を図るかが課題となる。 当局発言すべき団体(例:土地改良事業団体、霞ヶ浦用水の受益者など)が参加していないので、それを促すことが必要。 まだ開催地になっていない宝塚、石岡、舞田、奥津などでも開催してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.意見交換会の目的の再確認 意見交換会を何のためにやっているのかを再確認しておく必要がある。言うまでもなく河川法に基づき、民意を施策に反映させることが第一であるが、そのためには霞ヶ浦の河川整備基本計画策定に踏みつけることが肝要である。そのことを明確にしていた方がよい。 2.出席、出席者数、出席率確保、自然再生といった観測の課題だけの為ではなくて、治水、利水、農林保全、観光水産連携等を念めて、ステークホルダー(利害関係者)が一堂に集って意見交換し、すり合わせ(調整)を図る場であることを互いに確認すべきである。すなわち意見を出し放しで「ガス抜き」することではなく、成果(解決案)を上げることに力点である。 3.意見交換会における議論のスタンダード(基準)の持帰し設定 例)これまでの議論では、水産業者をはじめにしたいという意見が多かった。では、ワカサギ、シラウオ、ウナギの復活に本気で取り組むのか、フナ、コイ、エビがとればよいのか、それによって目指す水質、底質、確度はまた異なる。建設的な議論ではまだ少ないので、スタンダードを設定して、それに沿った議論を展開すると、進捗が見えてくる。例えば、いつかの時代の水質(あるいは生物種、生物量)をスタンダードにするのか、COD3mg/l(有機基準)か、フカサギ、シラウオ等の高か、コイ、フナ等の高か、遊魚は秒1匹か、排水量が汽水湖か等々。 3.調整、具体的なゴールを設定(その方が議論がはかまらうのではないか) 例)川岸線の作り替えによる浸水の回避は可能か 2.治水門の高効率利用の可能性 3.治水門の集約設置の検討 4.排水施設の大規模な再建 5.水産漁業施設の客観的評価 6.白濁現象の解明 7.砂浜造成の客観的検討 8.度笠沢源の評価 9.霞ヶ浦の堤岸復興のアイデア募集 4.開催の頻度について 例)1.未解決課題が残っている間は、2ヶ月に1度 2.定期的に継続開催(少なくとも年に4回くらい?) 3.大規模な工事や霞ヶ浦の環境への影響が予測される施策が計画された時は必ず開催する。
(有)霞ヶ浦生態系研究所	清田 篤雄	②良かった	<ul style="list-style-type: none"> ①多くの団体が参加して意見の交換を促進機会が与えられたこと。 ②成長戦略の構築に行政側が対応したこと。 ③住民側のラディカルな意見についても発言の機会が多かったこと。 	これからの政策策定について意見交換がなかったこと。	<ul style="list-style-type: none"> 現状を基盤とする範囲での議論にとどまる。今後の計画を決定している論議材料の場で欲しい。 特に行政の水質調査結果を意見し、新しい調査を自ら実施する必要があるのではないだろうか。 期待に勝って、霞ヶ浦は誰のものか?霞ヶ浦の歴史について研究を進め、その歴史の延長線上に霞ヶ浦を築くことが重要ではないかと考えている。
湖岸住民の会	清田 文男	②良かった	行政(河川事務所)が情報開示に積極的であった点。自身の情緒、知識を深められた点。参加者が毎回100人以上と多数であった点。(開催すれば自体に蓄積があり、良かった点)	<ul style="list-style-type: none"> 時期が短い。特に意見交換の時間、発言及び疑問提供の時間が短かった点。発言依頼者の選考が随分的すぎた点。議論が深められなかった点。有力団体の欠席が残念。意見書提出は不要で良かった。 今後、以下関係者の参加を促進された。(霞ヶ浦用水-霞ヶ浦浄水・砂利採取・土地改良区・漁協) 	<ul style="list-style-type: none"> 開催自体に意義があり、主催者を高く評価したい。今後の執行を希望するが、単なる「ガス抜き」とにとどまらず、具体的施策に結びつくようにせねば、行政不信と市民参加の減退を招くおそれがある。やはり行政のより一層の情報開示と共に、市民にとって最も関心のある環境の問題(治水・水質・水産等)を重点とし、フリーミーティング形式(主に)による定期的な開催の運営にすべきで、その中で議論を深め、多くの団体の意見を聞き取りたいと考えている。また、霞ヶ浦の歴史について研究を進め、その歴史の延長線上に霞ヶ浦を築くことが重要であらうか。ともあれ内容の充実度を高める事が肝要であり、市民の期待もそこには尽きるであろう。改正河川法・自然再生推進法等に対応できる市民社会の形成及び其の官・民パートナーシップ構築の場として期待を保持してほしい。
巴川桜林塾	廣戸 京子	③普通	住民と行政側の意見交換を合わせて、霞ヶ浦を良く見て問題意識をもってもらうために、開催だけでなく、霞入河川の上流の住民にも理解を求めるとも必要。	<ul style="list-style-type: none"> 円々会議的に、意見交換が出来ると良かった。 例えば……フリーミーティング、ワークショップなど全体会を実施することも必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に私たちに役がでるかを期待したい。 例えば高度処理浄化槽を改善する場合、補助制度を設けていても何故設置しないのか、など
舟木環境経済政策研究所	舟木 賢徳	②あまり良かった	①とも自由な意見を述べることができたことは貴重なことです。	意見は言っても、討論にはなっていません。制約無しに自由に意見をいふフリーミーティング(人の意見は聞きません)。提案・意見を無難に「実現不可能と決めつけない。」「方式でない建設的意見は実現は不可能。」	<ul style="list-style-type: none"> 「意見交換会では、個人の意見を言わせてあげた後別不可能と決めつけないことが必要です。意見の交換に止まらなくります。このことだけは使命であるように思っています。」 「白濁を封じたいではないかと、いろいろあることが明確になったかと思えます。必要なデータなり、調査なり費用の算定などが必要なのはリストアップし、その上で治水門をあげるべきか、導水車などどうすべきか、漁業の復元、自然の再生等について議論を朝から夕方まで継続討論して、期限を決めて終了し納得してもらおうと話し、白濁を封じたいべきでは考えます。そのことを期待します。」 「討論の場になってほしい。意見を言うだけの場ではないものを期待します。」 「団体の意向にもなるような御意見、例えば霞ヶ浦でどんな活動をしているといった意見になっていただけのものは議論して欲しい。」

所属	氏名	1意見交換会のご感想について	2意見交換会の良かった点	3意見交換会の改善すべき点	4今後の意見交換に対して期待するものについて、自由にご意見をお書き下さい。
東北芸術工科大学	前川 道博	②良かった	意見交換会は、相互に交流の少なかつた団体・個人が一堂に会して交際する場となり、今後に向けた発展する可能性の感じられるよい機会でした。	1)制度的に一層に含める形勢では議論がある。 2)対象分野が主に環境に限られ、より多岐・多面的な分野間の交流が広がらない。 3)前置の情報提供・意見交換の積み上げを未来に活かす加算が足りない。	今後、意見交換会をさらに発展させ、行政と市民が機動的に連携できる「緑ヶ浦フォーラム」の設立を提案します。 ●「緑ヶ浦フォーラム」の目的と機能 「行政(区・県・市町村)と市民が機動的に連携できる場の提供 -環境だけでなく、教育・農業-その他より広範囲な分野が連携できる総括機能 -お互いに助けを合せての交流・意見交換・未来の「緑ヶ浦」を考えるシンポジウムの開催(年数回)etc. -ネットを中心とした情報共有の促進。多様な意見・情報・資料を届けて合い共有する。 従来、初音関係から行政と市民、あるいは市民どうしが対立しあう図式が繰り返されてきたが、これからの情報社会において、お互いが多様な価値観を持つつつ、緩やかにかつ機動的に連携しあう相互の存在が新たなフレームとなります。 「情報共有」のためにネット環境が不可欠です。「かすみがらみネット」のサーバをその実現のために増設したに留まらず、本来、社会的に次がかりになる試みを入り込ませたいと考えています。諸々の問題を捉えながら協議して新たな連携のフレームを創つてまいりたいと、次回意見交換会で発展していかねばなりません。
筑波大学基礎教育学系	井 秀夫	①とても良かった	緑ヶ浦における結核事情の意見交換(情報)の共有が進んだと思われる。会議の現場についても思いつく事柄についても協議して見ると、市民には「寝る」よりも「寝る」とも、協議項目を自分たちの意見交換が必要であったと思う。また、タイムリーな課題を選択することでマスマスを通じ緑ヶ浦をアピールする機会にすべきだ。	結核についての議論や行ははつある。その一つは善意であり、二つは無意思であり、三つは悪意である。例えば流入河川や湖内へのゴミ投棄は悪意である。また、下水処理水を排水することは善意である。茨城県は限られた条件のなかで戦線を展開している。予算を譲り(市民)が認めらるれば茨城県は無条件に運営されるだろう。緑ヶ浦が下水道であることはほぼ誰もが認めることである。下水道をつくることも善意である。法律の範囲内で、できるだけ対応が試みられている。予算が減少なら差別的なことが起こる。この運営こそ善意である。この善意に対して排水を浄化しようという市民意識は無善無悪である。さらにゴミ投棄する悪意が加わる。ほとんどの個人もしくは組織が快進軍するための組織、緑ヶ浦の動物が死に絶えても仕方がないとするなら、これは限りなく悪意に近い。また、ヒトが地球上での生物の一種として、他の動物と同様に生態を破壊する行為をすべて悪意と見做すことも、自分自身は緑ヶ浦の快進軍を守る方針のことにわりがない。ヒトが快進軍派と見做す歩いて、食料を奪うため多くの動物を絶滅させる。悪意を重んじた集団から武力を奪った歴史からして、緑ヶ浦からの産物や財を、上代からの習わし、権利として主張するのは無善無悪である。これら悪意や無善無悪を認め受け入れることができなくなりつつあるようだ。ヒトは数百年前哺乳類であり進化の動物であると思うなら、ぜひゴミを付け、ゴミを投棄しない意識を共有するのだが「法」で縛らなければできないくらい、仕方ないところだ。これを意見交換会の課題として、自分の意見を受け入れられるまで主張が継続される。お互いの問題はあらうはずはない。ならば国土交通省管轄河川事務所、水資源機構、下水処理事務所、緑ヶ浦下水道事務所にも多人数を、国民が支払う税金を集中させるための会議にしよう。お金があれば緑ヶ浦は浄化され生物多様性も復活し漁業も安定し水道も安定になる。ようは予算が足りない状態を意見交換するから回避、総意に添った決断が必要となってしまうだろう。この会議では市民が緑ヶ浦予算の獲得の算出根拠を考えるべきだ。	
土浦市商工会議所	村山 昭一郎	聴く術に関して、細かい問題が提起・整理された	意見交換に際し、もつと問題の絡り込みをしたらどうでしょう、どうしても総合的にみてしまうようになります。	緑ヶ浦の観光について、周辺16市町村を総じて観光観光協会のものを期待しています。H14年度実績には2,280万の観光客が訪れています。しかし、9割が日帰り観光です。是非H20年度の観光客で宿泊客は3割ほどに増やせ。客単価には、観光センターも充実させたいです。知財の次は後継自産事業を立ち上げたいです。自産後継事業として、緑ヶ浦の木を次世代に活用を促進したいようにのんびり考えています。	緑ヶ浦の観光は約1000名です。しかし、すべてが観光地帯に集まっています。地味は5市町-緑ヶ浦市、同県市-鹿嶋市、土浦市、つくば市と周辺地区です。緑ヶ浦の水を生かして、観光は育めるのです。しかし、水質浄化活動に関してはよいようにしたいハードに付きあっている人気がほとんどありません。具体的な指導をお願ひいたします。水質浄化にはH21年度、そして緑ヶ浦下水道ラウンズ会議には18年度開始が、現在の協議の実行委員共々も2年の経過です。おこななる事があるが「実行委員会」の協力を添えて行いたいと考えます。よろしくお願ひいたします。
緑ヶ浦浄化ラウンズ会議	神沢 正男	②良かった	行政と市民間の関係者、そして民間団体関係者間の意見の交換会としては最高と感じました。	私達、緑ヶ浦浄化ラウンズ会議は単なる発案者とお手伝いする団体で、専門的な事柄はわからない。具体的なマニュアルが出来た時点で、の学習会等の参加が出来ると思っています。現在、厚より県内統一の絵圖、ポスター、標語展の共催のお話を検討中です。	●緑ヶ浦にわたる一テーマの多様な発言の場は貴重です。KIV問題のように、議題は次々にあらわれるので、意見交換の開催を求めます。この会議を意味あるものにするために、会議者の課題(重点)整理は、是非必要です。司会者の役割を期待します。 ①現状認識について ②議題の背景と目的について ③議論に向けてのシナリオの抽出 ④達成するための事業計画と責任分担の方法 以上の点について議論整理する中で、方向をあらわしてくれよう。これからの歴史や事業に反映される道筋が描ければ、これからの緑ヶ浦-河川行政の中心になろうと思っています。
土浦の自然を守る会	山根 崇英	①良かった	・テーマ設定のうえ、多様な立場からの発言がオープンに求められた。 ・あらかじり基礎資料を求めらるるがみかけられ、求めに対して豊富な資料が準備された。 ・意見交換会に向けての動員が毎回準備された。 ・会場を現場内で移動して、参加の積極性(しやすさ)を高めることに。	・テーマによって、是非発言を求めべき分野の方の出席が見られなかった。(例 緑ヶ浦浄化プロジェクト-緑ヶ浦下水道事業-溝内水質試験場など) -限られた時間内ではあるが、言はずばなしでなく論点整理を必ずするようにしたい。議論録の中で整理しても良い。 -「議論中進行をひかえてのコメントは不要。参加者は向き合っている。 -広報、案内用紙をさらに広く行てほしい。 -行政とのやりとりに止まらず、発言者同士(会場と発言者も含む)の議論が深まると良い。	●緑ヶ浦に關する政策や事業についての計画や進捗状況について、一般に広報する窓口の一つとして、さらに活用していただくを期待します。 ●意見交換会に出された意見をよくつかに真摯して、提案などの形として行政に反映していただけるように思います。
	山村 友樹	②良かった	それぞれ意見の交換や団体が一層に意見を交わす事によって、主要な問題の抽出と共有が図られたことは良かった。	問題点があまりにも広範囲かつ細分化されているために、一部の意見交換の場では、専門の方は議論を深めることができず、また一般の方々も消化不良というところもあった。しかし、今後も継続して、テーマ毎の内容を少すく了解めながら、意見交換を行っていくことが地道ではあるが重要と考えます。	

所属	氏名	1.意見交換会のご感想について	2.意見交換会の良かった点	3.意見交換会の改善すべき点	4.今後の意見交換会に対して期待するものについて、自由にご意見をお書き下さい。
ワールドバスソサエティー	西田 森二	②良かった。	霞ヶ浦に関わる様々な団体、またその考え方を知ることができた。行政との接点を持つことができた。活動する有効性を再認識することができた。	意見交換会開催要項を知る機会が一般の人にはほとんど少ないと感じた。より多くの霞ヶ浦関係者に出席して欲しい。時間は短かったですね。	<p>湖岸のゴミは本面にひどく、特に流入河川域では、上流からのゴミが大量に積み重なっています。それらが湖水中に流ってしまうのは残念です。少しずつでもこれらを流域住民で取り除き、外部より持ち込まれる有害物質ゴミを水中に残さないようにしたいと思います。美しい水、健康な水であるからこそ、魚釣りが楽しめます。そして一層一層の魚を守ることで、次代に釣り文化を継承できるのです。縄文時代より伝わる釣りを継承する機会があります。自然と親しみ、これを守るには触れることも大切です。魚釣りを通じて、全ての釣りを通じて環境保全の精神を伝えたいです。</p> <p>む仲間で、霞ヶ浦の清掃活動を行っています。 これは1996年から始めて、冬と夏の年二回、一回につき250～300人が参加しています。 しかし、霞ヶ浦湖岸の水辺やヨシ原内の漂着ゴミや、投棄ゴミをなかなか削減できません。ですが、自分たちの活動を止めてしまうと、予測出来ないほどの量のゴミが… 昨年春、桜川河口でゴミの回収を行いました。今年、1月31日の回収作業では、昨年を上回るゴミが回収されました。霞ヶ浦湖岸に蓄積されたゴミは、波浪で粉碎されるか速質に残存するなどして、プラスチックや樹脂などが粒子となって、水質に流入します。 魚釣、霞ヶ浦意見交換会に参加し、様々な霞ヶ浦の状況を学んで、水中に溶け込む、または流入する化学物質の恐ろしさを知りました。湖水中にある化学物質は私たちの大好きな魚だけでなく、人間の健康にも様々な悪影響を与えることを知りました。 この解決には、遊漁でヨシなどの植生帯を破壊している粗大ゴミの家電や雑材、電線資材、産業廃棄物、ガスボンベや缶びんなどを除去し、化学物質を多く含むゴミを取り除くことが釣り人として、また流域住民の一人として義務感すべきことだと考えました。 そこで、釣り人によるヨシ原の保護と化学物質除去を兼ねた活動を考え、これを「霞ヶ浦防農薬部隊」と呼称、ヨシ原、水辺と湖底を徹底清掃する活動を昨年開始しました。 霞ヶ浦の問題点の一つは、「市民によるゴミ投棄が横行すること」だと感じています。これを市民が反省しないまま、改善もせずに、富栄養化、コイヘルペス、水道水の安全を喪失するのは少し考えるべきです。</p>

今後の意見交換会の進め方について(案)

霞ヶ浦意見交換会は、今後の霞ヶ浦の治水・利水・環境・その他について、流域にお住まいの方々や、霞ヶ浦で研究活動している団体等、霞ヶ浦の利用者及び関係行政機関などが一堂に会して、幅広い意見交換・情報交換を行う場として平成14年12月に設置され、第1回、第2回で議論した進め方や5テーマ(水位、水質、生態系、産業・観光、環境教育・住民参加)に沿って第7回まで意見交換を行って参りました。

この間、のべ1000人を越える方々に参加者を頂き話題提供者も80人を越えるなど、活発な意見交換が行われました。

しかし、霞ヶ浦は流域100万人の湖であり、このかけがえのない霞ヶ浦を、地域の財産として守ってためには、みんなでもっと知り、みんなでもっと考え、さらに多くの方々との情報の共有や意志疎通が必要と考えます。

このため、霞ヶ浦意見交換会が、より多くの人たちとの情報の共有や意志疎通の場とするため、以下に示す意見交換会の進め方を提案いたします。

意見交換会の進め方

①意見交換会のテーマについて

- ・ 年度末に開催する意見交換会において、アンケートにより次年度のテーマを募集し、関心の高いものを選定。

②議事の進め方について

- ・ テーマに沿って専門講師に話題提供を頂き、当日参加者により、より具体的な意見交換を行う。
- ・ その他、行政から霞ヶ浦に関する情報の提供。

③開催の頻度

- ・ 原則として年間2回程度の開催とする。
- ・ ただし、ふれあい巡視(現地を視察しながらの意見交換)を2回程度開催する。

④ルールについて

- ・ 発言は座長の許可を得て、氏名、所属等を明らかにした上でテーマに沿って行う。
- ・ 意見交換はお互いの立場を尊重しあう。

— 「第8回霞ヶ浦意見交換会」に関するアンケート — HI6.3.13

○このアンケートは、これからの「霞ヶ浦意見交換会」を進める上で参考とさせていただくためのものです。

○集計結果は公表致しますが、個人のプライバシーに関する事を公表することは一切ございません。

○記入して頂いた、アンケート、テーマシートは、お帰りにまでに回収箱にお入れ下さい

①本日のご感想（番号に○をおつけ下さい）

①とても良かった ②良かった ③普通 ④あまり良くなかった ⑤悪かった

<コメント>（あればお書き下さい）

② 今回の意見交換会の開催を何でお知りになりましたか。番号に○をおつけ下さい

① 新聞 ②新聞広告 ③河川事務所ホームページ ④河川情報板 ⑤霞ヶ浦勉強会
⑥ その他 _____

○お差し支えなければご記入下さい（意見交換会等の情報をお知らせします）

○住所 〒 _____

○お名前 _____（ご所属）

○連絡先 TEL（ ） FAX（ ） e-mail _____

●ご協力ありがとうございました

国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所 調査課

住所：〒311-2424 茨城県潮来市潮来3510

電話 0299-63-2415 FAX 0299-63-2495

－ テーマ記入シート 1 －

- 来年度（平成16年度）の意見交換会で取り上げたいテーマがありましたらご記入下さい。
＜参考＞これまでの意見交換会は、水位、生態系、水質、産業・観光、環境教育・住民参加について行いました。
- 1テーマ1シートをお願いします。

< テーマ >

<取り上げたい理由を簡単にご記入下さい>

－ テーマ記入シート 2 －

- 来年度（平成16年度）の意見交換会で取り上げたいテーマがありましたらご記入下さい。
＜参考＞これまでの意見交換会は、水位、生態系、水質、産業・観光、環境教育・住民参加について行いました。
- 1テーマ1シートをお願いします。

< テーマ >

<取り上げたい理由を簡単にご記入下さい>
